

オープン市場短信 (2012年7月)

2012. 7. 09

◆ 6月のCP市場動向

6月のCP新規発行額は約4兆5500億円となり、期落ち（約4兆4000億円：当月発行分含む）を1500億円上回る結果となった（除く、相対発行・金融機関発行CP・ABCP）。

一般事法は、賞与資金対応等で多くの企業で前月を上回る発行があったものの、電機・鉄鋼会社等が四半期決算の有利子負債圧縮目的で発行を抑制した為、減少する結果となった。一方、その他金融は調達ニーズが強まり、入札ベースでは新規発行案件が償還に比べ約2000億円上回った。

月末残高は、前月比約4215億円増加し15兆6240億円と、前年同月（15兆4700億円）を上回り、業態別の内訳はABCPが大幅増加（+21.58%）、その他金融法人（+3.63%）や金融機関（+1.44%）も増加したのに対し、一般事法のみ減少（-4.04%）した。

発行レートは、投資家やディーラーの購入ニーズが強く、多くの銘柄で弱含み横這い推移となった。先月同様、電機メーカーや電力会社の一部については、運用サイドが慎重な姿勢を取り、レートはやや強含みとなった。新発3M物の発行レートは、最上位銘柄（a-1+格）で0.1069～0.109%、一般事業法人（a-1格）で0.107～0.130%、その他金融銘柄（a-1格）では0.108%～0.1215%。ショートターム物では、0.102%～0.11%近辺での出合いとなった。

【業態別残高内訳】

（単位：億円）

| 業 態 | 6月末残高 | 5月末残高 | 増減 |
|--------|---------|---------|---------|
| 一般事法 | 51,739 | 53,916 | ▲ 2,177 |
| その他金融 | 54,669 | 52,752 | 1,917 |
| 金融機関 | 26,764 | 26,383 | 381 |
| （政府系金融 | 530 | 490 | 40） |
| （銀行等 | 11,210 | 9,995 | 1,215） |
| （証券 | 15,024 | 15,898 | ▲ 874） |
| ABCP | 23,068 | 18,974 | 4,094 |
| | | | |
| 計 | 156,240 | 152,025 | 4,215 |

（注：買入消却分含む）

【格付け別の発行レート】

6月のCPレートレンジ

(単位 %)

| 格付 | 1ヶ月 | 2ヶ月 | 3ヶ月 |
|-------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| a-1+(一般事法) | 0.1040% ~ 0.1170% | 0.1045% ~ 0.1120% | 0.1069% ~ 0.1090% |
| a-1 (一般事法) | 0.1050% ~ 0.1580% | 0.1070% ~ 0.1570% | 0.1070% ~ 0.1300% |
| a-1+(リース銘柄) | 0.1025% ~ 0.1044% | 0.1070% ~ — | — ~ — |
| a-1 (リース銘柄) | 0.1050% ~ 0.120% | 0.1090% ~ 0.1170% | 0.1080% ~ 0.1215% |
| a-2 | 0.116% ~ ケ 0.25 | 0.131% ~ ケ 0.30 | 0.119% ~ ケ 0.40 |

《CPオペ》

CP等買入オペは5日・18・25日と3回の入札を行い、オファー額は各回3千億円にて実施された。5・18日オファー分については、応札ニーズがやや後退し、足切り・平均レートは若干低下した。25日オファー分については、ディーラーのオペ玉在庫が増加していたためか、応札が前回オペよりも増加し、足切り・平均レート共に上昇する結果となった。

6月末の買入オペ残高は、1兆8501億円（前月比1436億円増）となった。

日銀(資産買入等の基金)によるCP買い入れオペ実績

(単位:億円)

| 実施日 | 実行日 | オファー金額 | 応札額 | 落札額 | 按分・全取 利回り較差 | 平均落札 利回り較差 | 按分比率 |
|-------|-------|--------|-------|-------|----------------|---------------|-------|
| 6月5日 | 6月8日 | 3,000 | 5,160 | 2,723 | 0.008% | 0.009% | 93.3% |
| 6月18日 | 6月21日 | 3,000 | 4,730 | 2,956 | 0.006% | 0.008% | 19.9% |
| 6月25日 | 6月28日 | 3,000 | 6,625 | 2,750 | 0.008% | 0.010% | 10.7% |

(注) 下限利回り(年0.1%)からの利回り較差方式

《ABCP》

ABCPは、前月比4094億円の大幅増加となって、2兆3086億円となった。今年3月以来、前年比でも1511億円増加した。

《短期社債登録状況》

6月の新規発行企業は、三菱ケミカルホールディングが発行し、通算の発行企業数は519社。月末時点における発行登録（証券保管振替機構）企業数は、昭栄とADEKAの2社が新規登録を行い499社となった。

《CP現先市場》

現先(S/N)レートは、6月も落ち着いて推移し、0.10%近辺~0.105%程度での出合いであった。

◆ 7月のCP市場動向

7月中のCP償還額は約3兆1300億円で、前年同月の償還額（約3兆3000億円）をやや下回っている（除く、ダイレクトCP・金融機関発行CP・ABC）。

今月の発行動向は、四半期決算のため有利子負債圧縮目的で残高を抑えた鉄鋼・電気機器等の復活発行が実行されることや、資金原価低減目的でのCP発行を進める企業等の調達ニーズもあり前月比発行増となっており、市場活況が予想される。

4日、6月短観が発表となり、「CPの発行環境DI」で、発行が“楽である”と回答した企業が前回調査を上回っていた。今後も、企業が資金調達のツールとして、CPを安定的に利用していこうとする動きは変わらないだろう。

発行レートは、ディーラー・投資家共に運用ニーズが強く、電力・電機メーカーの一部や発行頻度の高い銘柄を除き、低位安定地合いが続くと思われる。

一般事業法人（a-1格）3M物では、0.100%台半ば～0.12%台半ば、その他金融で0.100%台後半～0.12%台前半を予想する。

《CPオペ》

今月は、13・25日に2回の入札が実施される予定。オペ（足切り・平均）レートは、新発物発行レートの大半が0.100%台前半から0.11%近辺となっているにも拘らず、需給により中々レート低下に繋がらない状況である。

今月の発行増見込みとオペ回数が減っていることを勘案すると、レートは横這い推移であろう。月末オペ残高は、1兆8000億円弱を予想する。

《CP現先市場》

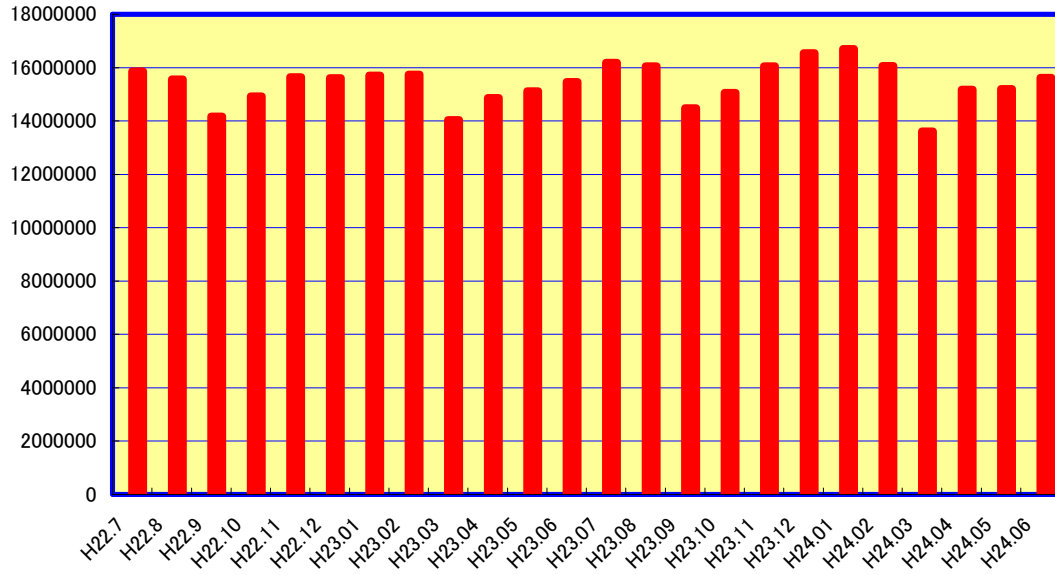
日銀の潤沢な資金供給姿勢は、今月も変わらないだろう。インターバンクレートは0.07%～0.08%での推移。レポレートも0.100%前後で安定推移しており、CP現先レートについては0.100%～0.105%での出合いで、先月同様落ち着いた動きを予想。

参考資料

短期社債月末残高（23年6月～24年5月）

発行登録企業：498社（発行実績あり519社）

（過去2年間の残高を表示）



6 月末発行残高ベスト 20

6月末発行残高上位20社

(単位:百万円)

| | 発行企業名 | 6月末残高 | 5月末残高 |
|----|-------------------------|---------|---------|
| 1 | 三井住友ファイナンス&リース | 745,000 | 664,000 |
| 2 | 三菱UFJリース | 734,900 | 694,100 |
| 3 | コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション | 669,540 | 599,240 |
| 4 | 東京センチュリーリース | 615,600 | 596,800 |
| 5 | みずほフィナンシャルグループ | 500,000 | 470,000 |
| 6 | 三菱UFJモルガンスタンレー証券 | 435,100 | 459,100 |
| 7 | JXホールディングス | 433,000 | 395,000 |
| 8 | エイペックス・ファンディング・コーポレーション | 429,200 | 326,450 |
| 9 | シャープ | 350,500 | 387,500 |
| 10 | アルカディア・ファンディング | 335,280 | 325,400 |
| 11 | 興銀リース | 333,300 | 336,800 |
| 12 | 芙蓉総合リース | 327,700 | 326,400 |
| 13 | パナソニック | 326,000 | 506,000 |
| 14 | JA三井リース | 316,000 | 297,000 |
| 15 | みずほ証券 | 294,100 | 289,400 |
| 16 | 大和証券 | 294,100 | 306,280 |
| 17 | 関西電力 | 269,000 | 208,000 |
| 18 | 野村證券 | 255,000 | 309,000 |
| 19 | オリックス | 231,700 | 236,200 |
| 20 | フォレスト・コーポレーション | 229,253 | 180,907 |

参考出所 (株)証券保管振替機構

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性について保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長(登金)第243号

大阪本社 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋2丁目4番2号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1丁目2番3号

加入協会 日本証券業協会